

地方創生拠点整備交付金事業評価シート

項番	施策・事業内容					重要業績評価指標 (KPI)							外部検討委員会 評価	備考
	事業の名称	事業の概要	事業実績額(千円)	施設整備の内容	担当課	評価	指標	基準値	R2年度末 目標値	実績値	R3年度末 目標値	実績値		
②	ウミガメ保護活動拠点整備事業	<p>みなべ町千里の浜は、日本でも有数のアカウミガメの産卵地として知られている。千里の浜では5月中旬から8月上旬の産卵シーズン中、NPO団体と地元の有志が連携して、ボランティアで保護・調査活動を行っている。また、本州でウミガメの産卵観察ができる場所が希少なため、シーズン中に1千人を超える観察者（教育旅行の利用者など）が訪れている。</p> <p>ボランティア調査員たちは、千里の浜に隣接する施設に常駐して活動を行っているが、老朽化が著しく危険なため使用できない部屋があることから、調査活動に支障をきたしている。また、週末には観察者が1000人を越えるときもあり、待機場所にも困る状況である。</p> <p>そこで老朽化した現施設（調査基地・宿泊施設）を撤去し、調査員が滞在するための施設と、観察者が待機している間にパネルなどでウミガメについて学習できる施設とが一体となった複合施設（情報発信基地）を整備することにより、より一層の観察者を受け入れ、また、地元有志の方々も、より一層の保護・調査活動に取り込みを行い、人材の育成を図る。</p> <p>【実施予定事業】 上陸産卵数調査の継続実施、調査ボランティアの育成、ウミガメ学習会の開催</p>	80,403	<p>拠点となっている施設は老朽化が激しく危険なため撤去し、調査・待機（仮眠）・学習機能をもった情報発信基地を改築する。</p> <p>【情報発信基地改築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査基地の整備 現場調査員を統括し、現場からの情報を集約する本部を整備する。 ・待機（仮眠）施設の整備 産卵シーズン中、ウミガメ調査員や観察者が滞在するため、仮眠設備と調理設備を備える。 ・学習施設の整備 観察客が待機時間を利用してパネルなどでウミガメについて学習できる施設を整備する。 ・シャワー室の整備 ウミガメ調査や卵の保護活動など、長期間滞在するため、シャワー室やランドリースペースを整備する。 	教育学習課	B	①環境保護協力金収入（@500円×人数）	0千円	745千円	5千円	770千円	18千円	770千円	
							②施設利用者数（ウミガメ産卵観察者数）	1,254人	1,490人	0人	1,540人	0人	1,540人	
							③教育旅行の受け入れ人数	3,022人	3,302人	9,626人	3,362人	23,934人	3,362人	
							令和3年度が地域再生計画の目標最終年次となっています。							
												A		

施策・事業内容の評価欄について

- A: 地方創生に非常に効果的であった(全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合)
- B: 地方創生に相当程度効果があった(一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合)
- C: 地方創生に効果があった(KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進し・改善したとみなせる場合)
- D: 地方創生に対して効果がなかった(KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合)

外部検討委員会の評価欄について

- A: 総合戦略のKPIの達成に有効であった
- B: 総合戦略のKPIの達成に有効とは言えない